

標 題 : Diet and Coronary Heart Disease
食事と冠状動脈性心疾患

著 者 : M. F. Oliver (英国 エジンバラ大学 心臓病学部)

掲 載 誌 : British Med. J 37(1): 49-58 (1981)

- 内 容 :
- 1 疫学研究
 - 2 食事と血漿脂質
 - a エネルギー
 - b 食事性コレステロール
 - c 脂肪酸
 - d 必須脂肪酸
 - e 炭水化物とシヨ糖
 - f 繊 維
 - g タンパク質
 - h アルコール
 - j 食 塩
 - 3 血漿脂質、アテローム性動脈硬化と冠状動脈性心疾患
 - a リポタンパク代謝
 - b 必須脂肪酸と血栓症
 - c 脂肪酸と心筋の代謝
 - 4 アテローム性動脈硬化と冠状動脈性心疾患の食事予防
 - a アテロームの軽減
 - b 食事試験の評価
 - 5 結 論
引用文献

はじめに : 食事と冠状動脈性心疾患(CHD 心疾患)の章が「ヒトの栄養」に関する論点で適切であるのは、意見がひどく対立して著者が信者と非信者に分類されることが多いので意見を評価して、混乱した課題のバランスのとれた見解を提供することがさらに重要となるためである。

事実を細かく調べて極端な見解を受入れないことが医師と医療従事者の責任であり、この方法によってのみ健康教育の基礎となる健全な政策が生まれる。

そのために、顕著な事実の手短で包括的な総説を、この章が提供することを期待する。
